

理事長室から

木下 統晴


 (国立国際医療研究センター
研究所HPより)


サイエンティストはカッコいい！

「サイエンティストはカッコいい！」

これは、満屋裕明先生から頂いたエッセイです。サイエンティストは、パリ、ミラノのファッションやハリウッドよりもはるかに「カッコいい」と述べておられます。何故「カッコいい」のか？先生と自分の経験もあわせて考えてみました。

私の製薬会社時代に、「まだペニシリン（抗生物質）も使うことができず、亡くなっている感染者が世界には沢山いらっしゃる。その方々のために、いかに安く、そして、品質の高い製品を多く提供するか。そのために生産技術の改良に全力をあげる」と、いくつものプロジェクトを成功させてきました。

一方で、病気を治したいと、新薬、治療薬、予防薬や治療法を一日千秋の思いで待っている患者さんがいらっしゃいます。「はばたき福祉事業団」の若き理事長、武田飛呂城さ

んをお招きした講演で、「死の直前まで行ったところで、やっとHIV感染症（エイズ）治療の新薬ができて自分の命が救われた」と伺いました。患者さんの心身の苦しみや不安をこの新薬が救ったのです。

本学は、保健分野の科学者（ヘルスサイエンティスト）を育成する大学です。自然は奥深く、人知の及ばないことばかりです。それを実験やデータサイエンスで解明すべくチャレンジしていきます。人々のためにある専門職、サイエンティスト！皆さん、「カッコいいサイエンティスト」を目指し、毎日がワクワクするような充実した大学生活を送りましょう。

満屋先生は、最後にサイエンティスト育成に対する日本の姿勢にも警鐘を鳴らされています。これは我々が真剣に考え実行に移さねばならない極めて重要な課題です。

◇満屋 裕明先生 本学特別招聘教授。現在、米国（NIH）と日本（国立国際医療研究センター）を1カ月毎に移動して研究を進められています。世界初のHIV治療薬AZTの開発者であり、その後も、3つの新薬を開発されました。4つ目のダルナビルは途上国が特許料を払わずに使えるHIV治療薬として世界で初めてWHOに登録されています。73歳。

県近代文化功労者に小野名誉顧問

皮膚科学の権威 文筆家としても活躍



熊本県教育委員会は10月25日（水）、令和5年度の県近代文化功労者を発表し、本学の名誉顧問で元学長の小野友道氏（83）が選ばれました。

小野氏は山口県徳山市（現周南市）出身。熊本大学医学部卒。皮膚科学・皮膚腫瘍学の第一人者として多くの後進を育ててきました。文筆家としても『人の魂は皮膚にあるのか』『木下 柰太郎と熊本ー「五足の靴」天草を訪ねる』など多くの著書があります。

平成19年に4年制に移行した本学の第2代学長に就任。8年にわたる在任中、認定看護師教育課程や大学院、リハビリテーション学科言語

聴覚学専攻などの新設、3号館と50周年記念館建設、太陽光発電システム導入、海外大学との協定締結など、本学の基盤を築き上げました。

県近代文化功労者の顕彰は1948年度にスタート。県出身者が在住歴があり、学術や芸術の分野で熊本の近代文化の発展に貢献した人物を対象としています。本年度は、小野氏のほか、「肥後三郎弓」の制作者で弓道文化の普及発展に貢献した松永重昌さん（93）、熊本県伝統工芸館の基本コンセプトなどを構築した秋岡芳夫さん（故人）も選ばれました。顕彰式は11月27日（月）、県庁で行われます。

(NL編集部)

ピリアに胃袋盗まれて...

人気メニュー Best 10

正午のチャイムを境にごったがえす学食「ピリア」。皆さんの毎日の空腹を満たしてくれている学食の、ちょっと気になるあんなこと、こんなことを調べてみました。まずは、学生に人気のメニューを紹介します。ピリア利用者102人に聞きました。

学生広報スタッフの「デビュー戦」です。



1位 オムカレー 23票

圧倒的な得票数で1位に輝きました!!
ちょっぴり辛味があるけど、やみつきになりそうなカレーの上に、トロトロのオムレツが乗っています。

少しカレーがマイルドになる感じがあってクセになること間違いなし!



2位 唐揚げ定食 12票

広報スタッフ内では一番人気の定食です。衣はサクサク、中はジューシーな唐揚げ定食です。何を食べるか迷ったら、まずは唐揚げ一択です!!

3位 塩レモン唐揚げ定食 11票

唐揚げ定食と僅差の3位でした。レモンの爽やかな香りが食欲をそそります。一度食べたら、もう他のメニューに浮気はできそうにない。そんな優れもの定食です。



4位 カツ丼 10票

ふわふわ卵が熱々の白ごはんを優しく包み込み、その上にサクサクなカツをのせた絶品カツ丼。一口食べたら、お口の中は幸せいっぱい♡

5位 明太チーズ釜玉うどん 9票

こしのあるうどんに明太チーズが絡み合い、本当に美味しい! 明太好きにはたまりません☺

気になったそこのあなた! 食べてみなっせ~!

< 6 ~ 10位 >

6位 鶏玉チリ丼 (6票)

7位 肉すき丼/魚ランチ (各4票)

9位 カツカレー/肉うどん/きつねうどん/ポークカレー (各3票)



熊保大生は、いったいどれくらいの頻度でピリアを利用しているのでしょうか。「好きなメニュー」調査のついでに、学食の利用頻度についても50人にインタビューしました。

利用者の4割 「週に5日」

あなたは毎日派？
時々派？

圧倒的に多かったのが「週に5回」、つまり毎日利用しているという回答で19人、全体の4割近くを占めました。一人暮らしをしている人ほど毎日学食を利用する人が多いようです。やはり、豊富なメニューはありがたいし、毎日食べても飽きないおいしさは感謝状ものですね。

続いて多かったのが、「週に1回」の9人。さらに「週に2回」の7人が続きました。自宅通学生が多くみられました。学食を使わない日の多くは弁当持参です。金銭面を考えて「自分で作る」という堅実派から、「親に作ってもらう」というちゃっかり派までさまざま。一人暮らしの人の中にも「自分で作る」という人は少なくありません。「家に帰って食べる」という人も見られました。

普段は利用しなくて、「2週間に1回」とか「月に1回」といった回遊魚のような人たちも。でも、そんな人たちも、「やっぱり学食の方が温かくて美味しい」んだとか。ふと、おいしい学食が食べたくなるものなんですね。

インタビューを終えて分かったことは、学食が熊保大生に沢山愛されていること。毎日利用しなくても、ふとしたときに立ち寄りたくなるピリアには、まだ知らない魅力が沢山あるのかも。これから、卒業するまで、ピリアにお世話になります！



仁愛の心で1日300食提供

インフィニティに愛して

「ピリア」という名称は、本学が掲げる四綱領の中の「仁愛」を意味するギリシア語です。学生・教職員から公募したもので、将来の医療技術者を目指し日々頑張っている本学の学生たちが、互いの友愛を深め、より有意義な学生生活を送ることができるようにという願いが込められています。

ピリアでは、1日あたり約300食を提供しているそうです。厨房内では、男性2人、女性4人の計6人のスタッフが、皆さんの胃袋を満たそうと忙しそうに立ち働いています。平日の昼休みともなると、まさに戦場です。それでも、ある女性スタッフは、「学生さんたちがたくさん食べに来てくれることがうれしい」と話してくれました。取材に訪れた私たちにも「卒業するまで食べに来てね」と、優しく応対してくれました。

そこで一句。

はまりそう **インフィニティ** (永遠) に **学食愛**

この紙面は私たちが作りました

◆学生広報スタッフ
NEWSLETTER班◆

岡村真来 (リハビリテーション学科生活機能療法学専攻2年)、
下田若奈、下園玲美、
副島一流、山中菜愛、
下田埜乃、末田凜 (以上看護学科1年)



竹屋学長から適格認定書を
受け取る赤池さん(右)



実習認定式

「ことばの相談室」ロゴマーク

言語発達臨床教育研究室「ことばの相談室」が募集していたロゴマークの表彰式を10月21日(土)、3213実習室で行い、最優秀賞の村田瑞季さん(必由館高校3年)ら入賞した高校生3人を表彰しました。

保護者や学校関係者が見守る中、竹屋元裕学長が一人一人に表彰状を手渡し「今回のロゴマーク募集をきっかけに友達などへも言語聴覚士という職業を広げてもらいたい」とあいさつ。言語発達臨床教育研究室内の室長を務める井崎基博准教授は「どれも、ことばの相談室のコンセプトを表した視認性が高いデザイン。これから地域の方々に親しまれる相談室になるようにロゴマークを様々な形で活用させていただきます」とお礼を述べました。

審査は、学外の第三者としてDesign 8°の齋藤秀行氏の助言をいただきながら行いました。受賞したデザインは、今後、「ことばの相談室」のリーフレットをはじめ様々な場面で活用し、より地域に寄り添った「ことばの相談室」になるように活動を行っていきます。

(ことばの相談室)

受賞者は次の通り。

▽最優秀賞 村田瑞季さん(必由館高校3年)
▽優秀賞 永田花梨さん(第一高校3年)、佐藤瑚々夏さん(必由館高校2年)

優秀3高校生に表彰状



作品を手に関係者と記念撮影する高校生たち。前列左から2人目が最優秀賞の村田さん、同4人目が永田さん、右端が佐藤さん

いざ臨地実習!

医学検査学科の臨地実習認定式が10月26日(木)、1300L講義室で行われ、同学科3年生100人に適格認定書が授与されました。

認定書授与では学生を代表して赤池遥さんが竹屋元裕学長より認定書を受け取りました。引き続き、竹屋学長が「臨床検査の現場ではどういった検査が行われているか、検体の取り違い防止のためにどんなチェック体制が整えられているのかを直に学んできてほしい」と告辞。宣誓「ヒポクラテスの誓い」では、足立裕志さんの宣誓に続いて学生たちが肅々と宣誓文を読み上げ、講義室は厳かな雰囲気になりました。最後に、上仲一義医学検査学科長が「臨地実習を終えて一回り大きくなった姿を見せてくれることを楽しみにしています」と温かい言葉で学生たちを送り出しました。

医学検査学科3年生は、10月30日から37の施設で実習を行っています。(入試・広報課)

医学検査学科3年

適格認定書渡し激励

授業、実習前学習、自学自習で手軽に利用…新「VISUALEARN」説明会

映像コンテンツ 71タイトル契約

医学、看護、健康・保健の映像コンテンツをパソコンやスマホ、タブレットで視聴することができ、遠隔授業にも利用できる映像配信システム「VISUALEARN」のニューモデル説明会が10月26日(木)、キャンパステラスで行われ、教職員13人が参加しました。

図書館ではコロナ禍の2020年から「VISUALEARN」を導入。毎年、利用状況を確認し、教職員に次年度の利用希望を聞きながら見直しを行っています。本年度は解剖生理、医療、看護、リハ等の全71タイトルの映像コンテンツを契約。これらは、授業や実習前学習、自学自習に利用されています。

今回の説明会では、各動画チャプターに新たに付けられた「確認テスト」機能などについて、医学映像教育センターの担当者から説明がありました。

なお、「VISUALEARN」の利用に関しては図書館にお問い合わせください。(入試・広報課)



担当者より説明を受ける本学教職員